



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月8日

上場会社名 東海染工株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 3577 URL http://www.tokai-senko.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 八代 芳明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 津坂 明男 TEL 052-856-8141
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	6,729	△2.9	△82	—	△59	—	△291	—
24年3月期第2四半期	6,932	0.2	△85	—	△144	—	△176	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △261百万円 (ー%) 24年3月期第2四半期 △223百万円 (ー%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△8.43	—
24年3月期第2四半期	△5.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	12,525	4,426	33.7
24年3月期	13,740	4,798	33.4

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 4,216百万円 24年3月期 4,592百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
25年3月期	—	0.00			
25年3月期（予想）			—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成25年3月期の期末の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,200	△2.2	350	△10.8	380	36.5	30	△86.9	0.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー
詳細は、(添付資料) 4 ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、(添付資料) 4 ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	36,142,529株	24年3月期	36,142,529株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,701,565株	24年3月期	1,510,098株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	34,604,920株	24年3月期2Q	34,633,276株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料) 3 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参 考)

1. 平成25年3月期第2四半期の個別業績（累計）（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,580	△5.7	△221	—	△130	—	△134	—
24年3月期第2四半期	4,856	0.9	△224	—	△232	—	△196	—

2. 平成25年3月期の個別業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	△6.4	50	△54.7	150	44.5	180	18.4	5.21

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災からの復興需要に支えられ、緩やかながらも回復傾向を維持しております。しかしながら、欧州財政危機の再燃や新興国の景気減速懸念などによる世界経済の下振れリスクと円高の長期化などにより、先行き不透明感は払拭されないまま推移しました。

繊維業界におきましては、消費者の節約志向の定着によって店頭における衣料品販売は伸び悩んでおり厳しい状況が続いております。とりわけ染色加工業界におきましては、昨年まで活況を呈したユニフォーム関連受注が需要調整局面に入り低迷していることに加え、円高や生産技術レベルの向上を背景に海外への繊維生産シフトが一段と進んでおり、国内における需要減少の流れは加速しております。

このように厳しさを増す経営環境のもと、当社グループでは、更なる収益力の向上を目指し、グループ全体で様々な課題に取り組んでまいりました。

主力の染色加工事業におきましては、国内では、付加価値加工商品の開発やその拡販に加え、市場ニーズが高い小ロット・短納期対応の強化を進めました。また国内需要が縮小する中で、更なる効率化と収益の確保を図ることを目的に、磐田事業所における織物無地染加工の一部を浜松事業所へ移管し、生産拠点の集約化に着手しております。

その一方、海外では、当社グループが生産拠点をもつ東南アジアで繊維生産・販売の機会拡大を追い風に、より一層の事業拡大を目指しております。インドネシア子会社・タイ子会社ともに現地における製造インフラやサプライチェーンの整備と強化に取り組むと同時に、日本技術の積極的な導入により加工や素材のバリエーション拡大と品質の向上を図り、日本向け加工・販売及び内地向け受注の拡大に努めました。

また縫製品販売事業は、これまでに構築したインドネシア一貫生産体制を活用した製品の拡販に注力し、成長分野である保育サービス事業におきましては、保育所件数の更なる増加に努めております。

これらの取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,729百万円（前年同期比2.9%減、202百万円減）となり、海外事業や保育サービス事業の売上高は前年同期に比べ増収となりましたが、国内染色加工事業の受注落ち込みの影響が大きく減収となりました。

利益面におきましては、主力の国内染色加工事業が閑散期にあたり且つ減収により、収入面で厳しい環境が続きましたが、収益力の改善に加え、海外事業が増益となったことにより、営業損失は82百万円（前年同期は営業損失85百万円）となり、前年同期を若干ではありますが改善しております。

一方、経常損失は59百万円（前年同期は経常損失144百万円）となり、全ての連結子会社の増益による効果に加え、会計基準変更時差異の費用処理完了に伴う退職給付費用の減少などにより損失幅を大幅に圧縮しております。

なお、第1四半期会計期間に米国子会社の解散に伴う事業整理損168百万円を特別損失として計上した結果、法人税等を控除した四半期純損失は291百万円（前年同期は四半期純損失176百万円）となっております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①染色加工事業

染色加工事業の売上高は5,247百万円（前年同期比7.7%減、436百万円減）と減収となりましたが、営業損失は136百万円（前年同期は営業損失176百万円）となり、主に海外子会社の増益効果により赤字幅を圧縮しております。

染色加工事業における部門別（加工料部門、テキスタイル販売部門）の業績は次のとおりであります。

（加工料部門）

加工料部門は、国内におきましては、無地染加工では、織物加工分野で顧客との取り組み強化を進め、短納期対応を武器に国内に残る定番品加工の取り込みに注力しましたが、ユニフォームや婦人カジュアル衣料向けの受注が大幅に低迷し売上は落ち込みました。一方、編物加工分野では、差別化商品である付加価値加工商品の開発と拡販に取り組んだ結果、量販店向けに順調に売上を伸ばしたと同時に、高機能を付加した特殊加工商品の受注が好調に推移しております。プリント加工では、編物加工分野で受注が好調に推移したことに加え、織物加工分野では、量産型デジタルプリント機を活用し、当社が培ってきた画像処理技術を活かした商品作りを進め、新規顧客を中心にデジタルプリントの受注拡大にも積極的に取り組みました。しかしながら、無地織物加工における受注不振の影響は大きく、国内加工料部門全体では減収となっております。

その一方、事業拡大を進める海外におきましては、インドネシア子会社では、内地向け受注の拡大や前期に実施した一律値上げ効果に加え、日本からの技術支援により品質向上を図ると同時に、販売ルートの構築・確保を進めることで、駅ビルやファッションモール向けを中心とした日本向け加工の拡大にも取り組みました。これらの成果により、順調に売上を伸ばし増収となっております。

またタイ子会社におきましても、好調な内地向け受注の増大に取り組むと同時に、品質の向上が著しい現地紡績・織布会社の生地活用や、日系商社との連携を一段と深め、百貨店向けの婦人服分野を中心に日本向け加工の拡

大にも注力し増収となりました。

以上の結果、加工料部門の売上高は4,137百万円（前年同期比9.1%減、414百万円減）となり、海外子会社2社は増収となりましたが、国内の受注低迷が響き、減収となりました。

（テキスタイル販売部門）

テキスタイル販売部門は、国内におきまして、衣料品販売低迷やユニフォーム関連受注の落ち込みの影響を受け減収となりました。その一方で、インドネシアでは、生地値の落ち着きを背景に、欧州向けの輸出販売が回復し好調に推移しましたが、テキスタイル販売部門の売上高は1,110百万円（前年同期比2.0%減、22百万円減）となり、国内における販売不振の影響により減収となりました。

②縫製品販売事業

縫製品販売事業は、インドネシアにおける製品一貫生産体制に中国から完全にシフトさせ、インナー中心から新たにアウトター分野への展開や多店舗展開している小売店への直接販売を進めるなど、順調に売上を伸ばした結果、同事業の売上高は830百万円（前年同期比17.2%増、121百万円増）と増収となり、利益面でも、営業利益11百万円（前年同期比18.9%増、1百万円増）と増益となりました。

③保育サービス事業

保育サービス事業は、病院を中心とした事業所内託児所の新規開設効果や行政から受託運営する保育園の児童数の増加などにより順調に売上を拡大した結果、売上高700百万円（前年同期比12.4%増、77百万円増）と増収となりました。しかしながらコスト面で、更なる事業拡大を目的に人員確保を進めたため、人件費や採用費が先行費用として増加し、営業利益18百万円（前年同期比2.9%減、0百万円減）と前年同期と比べ横ばいとなりました。

④倉庫事業

倉庫事業は、国内染色加工事業の受注低迷の影響を受け、荷受取扱数量が伸び悩んだ結果、売上高は140百万円（前年同期比0.4%減、0百万円減）とほぼ横ばいで、営業利益3百万円（前年同期比34.3%減、2百万円減）となりました。

⑤その他事業

当セグメントには、機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業が含まれており、売上高は82百万円（前年同期比24.6%減、26百万円減）、営業利益は20百万円（前年同期比60.8%減、31百万円減）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、12,525百万円（前連結会計年度末比8.8%減、1,214百万円減）となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少729百万円、現金及び預金の減少295百万円、投資有価証券の減少205百万円等によるものです。

負債は、8,099百万円（前連結会計年度末比9.4%減、842百万円減）となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少517百万円、その他流動負債の減少238百万円、退職給付引当金の減少150百万円等によるものです。

純資産は、4,426百万円（前連結会計年度末比7.8%減、372百万円減）となりました。これは主に四半期純損失の計上291百万円、配当金支払による減少69百万円、投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の減少182百万円、為替換算調整勘定の増加190百万円等によるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年5月10日に公表いたしました数値を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成24年11月8日）公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計上の見積りの変更

(退職給付引当金の数理計算上の差異の処理年数の変更)

従来、当社の数理計算上の差異の費用処理年数は10年としておりましたが、従業員の平均残存勤務期間が短縮したため、第1四半期連結会計期間より費用処理年数を9年に変更しております。

この変更に伴い、当第2四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純損失は19,151千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,714,773	1,419,768
受取手形及び売掛金	3,798,912	3,069,603
商品及び製品	265,458	271,020
仕掛品	384,914	412,018
原材料及び貯蔵品	343,250	346,591
繰延税金資産	32,675	31,439
その他	155,764	206,372
貸倒引当金	△8,475	△9,294
流動資産合計	6,687,273	5,747,518
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,367,333	1,370,499
機械装置及び運搬具（純額）	1,813,109	1,812,684
土地	1,816,076	1,806,018
建設仮勘定	160,519	101,670
その他（純額）	47,193	69,155
有形固定資産合計	5,204,233	5,160,028
無形固定資産		
のれん	691	493
その他	36,977	35,431
無形固定資産合計	37,669	35,925
投資その他の資産		
投資有価証券	1,550,215	1,344,842
繰延税金資産	10,423	19,000
その他	259,137	231,813
貸倒引当金	△8,774	△13,229
投資その他の資産合計	1,811,001	1,582,427
固定資産合計	7,052,904	6,778,381
資産合計	13,740,177	12,525,900

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,293,635	1,775,981
短期借入金	2,107,254	2,116,699
未払法人税等	32,062	40,771
賞与引当金	29,680	43,193
その他	1,231,620	992,928
流動負債合計	5,694,252	4,969,575
固定負債		
社債	90,000	60,000
長期借入金	721,500	887,800
退職給付引当金	1,937,072	1,786,962
役員退職慰労引当金	269,207	271,042
環境対策引当金	17,950	—
資産除去債務	36,135	37,132
負ののれん	6,474	3,237
その他	169,122	83,799
固定負債合計	3,247,462	3,129,973
負債合計	8,941,715	8,099,548
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,300,000	4,300,000
資本剰余金	1,400,248	1,400,151
利益剰余金	305,733	△62,606
自己株式	△335,670	△350,893
株主資本合計	5,670,312	5,286,650
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68,531	△113,778
為替換算調整勘定	△1,146,784	△956,692
その他の包括利益累計額合計	△1,078,253	△1,070,470
少数株主持分	206,403	210,170
純資産合計	4,798,462	4,426,351
負債純資産合計	13,740,177	12,525,900

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	6,932,793	6,729,965
売上原価	6,130,876	5,917,019
売上総利益	801,916	812,946
販売費及び一般管理費	887,533	895,509
営業損失(△)	△85,616	△82,562
営業外収益		
受取利息	234	768
受取配当金	22,358	27,482
負ののれん償却額	3,237	3,237
還付消費税等	—	36,241
雑収入	27,734	24,080
営業外収益合計	53,564	91,810
営業外費用		
支払利息	23,714	16,461
退職給付費用	62,554	—
固定資産廃棄損	1,343	17,964
為替差損	3,923	12,108
雑支出	20,888	22,289
営業外費用合計	112,425	68,824
経常損失(△)	△144,477	△59,576
特別利益		
移転補償金	—	20,360
特別利益合計	—	20,360
特別損失		
事業整理損	—	168,050
その他	—	15,902
特別損失合計	—	183,952
税金等調整前四半期純損失(△)	△144,477	△223,169
法人税、住民税及び事業税	35,334	45,239
法人税等調整額	△32,397	△2,250
法人税等合計	2,936	42,989
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△147,413	△266,158
少数株主利益	28,617	25,693
四半期純損失(△)	△176,031	△291,851

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△147,413	△266,158
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△66,308	△182,309
為替換算調整勘定	△10,146	186,931
その他の包括利益合計	△76,454	4,622
四半期包括利益	△223,868	△261,536
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△244,742	△283,822
少数株主に係る四半期包括利益	20,873	22,285

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△144,477	△223,169
減価償却費	256,508	232,112
移転補償金	—	△20,360
事業整理損失	—	168,050
退職給付引当金の増減額(△は減少)	97,328	△149,526
貸倒引当金の増減額(△は減少)	23,355	5,271
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,966	13,513
受取利息及び受取配当金	△22,592	△28,250
支払利息	23,714	16,461
為替差損益(△は益)	△8,761	9,203
売上債権の増減額(△は増加)	1,066,944	724,228
たな卸資産の増減額(△は増加)	29,462	△38,529
仕入債務の増減額(△は減少)	△544,640	△514,425
未払費用の増減額(△は減少)	△43,173	△50,930
その他	△53,957	△79,773
小計	688,677	63,875
利息及び配当金の受取額	22,592	28,250
利息の支払額	△24,020	△16,690
法人税等の支払額	△93,616	△36,774
営業活動によるキャッシュ・フロー	593,633	38,661
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	24,900
有形固定資産の取得による支出	△225,845	△180,878
有形固定資産の売却による収入	—	46,031
有形固定資産の売却に伴う支出	△196,750	△192,048
投資有価証券の取得による支出	△20,600	△122,089
投資有価証券の売却による収入	—	43,432
その他	8,039	32,597
投資活動によるキャッシュ・フロー	△435,156	△348,054
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△708,725	50,000
長期借入れによる収入	600,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△351,995	△370,900
社債の償還による支出	△30,000	△30,000
自己株式の取得による支出	△140	△15,378
自己株式の売却による収入	145	58
配当金の支払額	△69,267	△69,264
少数株主への配当金の支払額	△19,536	△18,518
その他	△649	△2,206
財務活動によるキャッシュ・フロー	△580,167	43,789
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,691	3,358
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△425,383	△262,245
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△8,260
現金及び現金同等物の期首残高	2,176,985	1,630,273
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,751,602	1,359,768

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	5,614,173	621,738	623,435	18,205	6,877,552	55,240	6,932,793	—	6,932,793
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	70,179	87,042	—	123,256	280,478	53,965	334,443	△334,443	—
計	5,684,353	708,780	623,435	141,461	7,158,031	109,206	7,267,237	△334,443	6,932,793
セグメント利益又は 損失(△)	△176,999	9,701	18,668	5,905	△142,723	52,459	△90,263	4,646	△85,616

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額4,646千円には、セグメント間取引消去4,844千円、のれんの償却額△197千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	5,247,745	714,681	700,771	2,020	6,665,219	64,746	6,729,965	—	6,729,965
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	10	116,081	—	138,855	254,947	17,623	272,571	△272,571	—
計	5,247,755	830,763	700,771	140,876	6,920,167	82,370	7,002,537	△272,571	6,729,965
セグメント利益又は 損失(△)	△136,811	11,539	18,129	3,880	△103,261	20,549	△82,712	150	△82,562

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額150千円には、セグメント間取引消去347千円、のれんの償却額△197千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。